

駅に点状ブロック設置へ

共産党・住民に 東急電鉄が回答



東急側（左前）に要望する党と各団体の人たち＝28日、横浜市

東急電鉄は28日、視覚障害者の安全確保に有効な「内方線付き点状ブロック」が整備されていない駅について、2012年度中に設置する考えを明らかにしました。これは、日本共産党南関東ブロック事務所と神奈川県委員会が、住民とともに要請行動を行った際に、応じた同社事業推進課の課長補佐が答えたもの。

要請では畑野君枝衆院南関東比例候補がホームドアや点状ブロックを早期に設置するよう要望。同席した神奈川県視覚障害者の生活と権利を守る会、港北区を住みよくなる住民の会、青葉区の街づくりを考える住民の会の人

たちが駅待合室の設置、案内表示板の改善などを求めました。ホームドアについて、東急側は「設置に向けて検討していきま」と回答。内方線付き点状ブロックについては、ホームドアが設置されている目黒線と、横浜高速鉄道が施設・車両を保有する子どもの国線以外は、「今年度中に全部設置します」と述べました。

内方線付き点状ブロックについては、東横線の大倉山、東白楽、田園都市線のすずかけ台、長津田、鷺沼駅の各駅で設置されていないことが党の調査で分かりました。

要請には、くぎまる進衆院神奈川8区候補、宮心かつゆき同13区候補、大貫憲夫、白井正子両横浜市議、大山奈々子港北区教育・スポーツ対策室長らが出席しました。